

東書藝

平成 28 年 12 月

<http://www.toshogei.jp/>

'16 東海書道藝術院研修会

西尾市・グリーンホテル三ヶ根

平成二十八年九月十一日

十二日、夏季恒例の東書藝研修会が愛知県西尾市・グリーンホテル三ヶ根で開催された。何年か前にも訪れた、三ヶ根山麓の風光明媚な立地にある建物。まだまだ暑さが厳しいが、高台を吹く風は心地好く流れる。参加者総数百十八名。内、院人は四十三名だが、会員・準会員が八名、五名とさびしい。来年は是非多数の参加を期待したい。

午後一時半、安藤清舟副会長の開会の言葉から、渉外局と中日新聞社より名匠狂言会の案内に続いて、愛知学院大学准教授・劉作勝先生が「日・中・韓・書道比較」と題して講演。休憩をはさみ安藤清舟副会長の「ウラ



今井麦苑先生席書



西尾呂城先生席書



風岡五城先生席書



水谷紅楓先生席書

ジオストックを訪ねて」のお話。劉先生は流暢な日本語で、三国の視点からみた「書」をユーモアを交えて明快な切り口で分析された。安藤副会長は瑞雲書道会から水谷紅楓常任参事、松岡麗泉常任理事と共に訪問したロシア・ウラジオストックでの書道交流を紹介。文化・芸術に国境はないことを実感できた。そして隣室へ移動して、いよいよ幹部先生による席上揮毫となる。

この時を楽しみにしている会員諸氏も多いだろう。今回は、風岡・安藤・久野・木村・今井・西尾・水谷の七先生が熟練の筆捌きを披露した。各先生の書体、書風も様々で大いに勉強になったことと思う。たいへん貴重で有意義な時間だった。一息ついた後、久野北崖副会長の閉会の言葉でプログラムを終了。夜は一同に会しての懇親会で交流・親睦を深めた。翌朝は朝食をとり順次解散。研修局の尽力で、今年も充実した一泊研修会を実施することができた。